

通所リハビリテーションあずみの 社会参加支援事業

令和6年11月10日
あずみの通信
増刊号

松本山雅観戦ツアー 2024年10月20日



第1回目の社会参加支援事業として松本山雅の試合観戦に出かけました。公共交通機関を利用して一般の方々の一員となり過ごす事の確認です。電車に乗り、バスに乗り、駅を歩き、スタジアムに行き、買い物もして。盛りだくさんの一日でした。次はご利用者さまご自身、あるいはご家族・ご友人と是非秋の行楽を楽しんで頂きたいと思います。



念願の松本山雅の試合観戦に没頭する熱烈サポーターの利用者さま。この日を待ちに待っていました。ずっと山雅の応援ソングを歌っていましたよ。



で活気に溢れていきました！
アルウィンにはサポーターの皆さん
世補まんにた皆あ訪へ
て助したをにきさんつれる集
、席もが買つるなるるてる合し
いもが、たり買つるるるるるる
ざ、使、うバ。アほのスタトル
、うバ。アほのスタトル
アほのスタトル
アルウインへ出発。
の皆さん

いざ、アルウィンへ

参加された方々の声を

写真と共に紹介します



やっぱり現地は
いいね!!



一日楽しんだ、気晴らしになった。あの日は凄く寒くて一日震えていたけど、試合も負けたけどゴールが何回も見られたのが救いだった。毎月こういうのをやってもらえればありがたいな。



相澤病院に入院している時から山雅に行こうと思って頑張ってきた。試合はまずまずだったけど行って良かったなと思った。山雅に帰ってきた感じがして凄く嬉しかった。山雅のサポーターの旗が上がって歌が聞こえている時に山雅に帰って来たなと感じて嬉しかった。やっぱり山雅はいいなと思った。

サッカー初めて見たんです。それで初めて山雅に行ってサポーターの熱狂的応援に感激しました。太鼓の音がすごく良くてサンバに似ていて、サッカーよりもそっちばかり見て誰が叩いているのかなと、とても上手だったんです。あれが良かったです。



観戦ツアーを終えて…

今回、当事業所の社会参加支援事業として、本ツアーを計画しました。障害者が一般社会へ出ていくためには様々なハードルがあります。今の環境から、ステップアップするためにチャレンジされた3名の勇気と好奇心とバイタリティには尊敬の念に堪えません。

出来たこと、苦労したことなど、様々な成功と発見があったと思います。今回の経験をどう卒業に向けた計画に活かしていくか、担当者と話し合っていきましょう。

文責：山崎